第１学年１組　　道徳科学習指導案

１　主　題　名　みんなが　つかう　ばしょでは（Ｃ　規則の尊重）

　　教　材　名　みんなが　つかう　ばしょだから　　出典：光村図書「きみがいちばんひかるとき」

２　本時の学習

（１）ね　ら　い

　　　きまりを破って校庭でボールを蹴ってしまったしんじ君の姿を通して、みんなで使う場所で気を付けなくてはならないことについて考えさせ、約束やきまりを守り、みんなが気持ちよく安心して過ごせるようにしようとする判断力を育てる。

（２）準　　備

　　教　師　・・・挿絵、電子黒板、ワークシート、掲示用の心情マーク、公園や通学路の写真

　　　児　童　・・・タブレット

（３）学習過程　　　　　　　　　　　　　　　　　アンダーラインは、現職テーマに迫る手だて

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学　習　活　動 | ○教師の支援・留意点　◎評価 |
| つ  か  む  ５  分 | １　身の回りにある約束やきまりを発表し合う。　　　　　　　　　　　　　【全】  ・廊下は、静かに歩く。（走らない）  →急いでいたから。  ・給食中は、黙食をする。  →しゃべりたくなってしまった。  ・遊具で遊ぶ時は、割り込みをしないで順番を守る。→早くやりたい。  ２　めあてを知る。　　　　　　　【全】  みんなが　つかう　ばしょで　きを　つけなければ　いけないことについて　かんがえよう | ○　日常生活の中にあるきまりをたくさん出し合い、身近なこととして感じられるようにする。  ○　きまりが、守れなかったことはないか尋ねる。 |
| 追  究  す  る  ３０  分 | ３　「みんなが　つかう　ばしょだから」を読み、しんじ君の行動について話し合う。  　　　　　　　　 　　　　　 【全】  （１）めぐみさんに注意されても、もう一度ボールを蹴ってしまった理由をしんじ君の立場になって考える。　　　　【全】  ・ボール遊びが大好きだから。  ・楽しいから。  ・ちょっとくらいなら、いいから。  （２）タブレットを使って、しんじ君の心情  マークをクラスルームに送る。  【個→全】  ４　もし、めぐみさんに「だめだよ。・・・きまりでしょう」と言われた時に、しんじ君が「そうだね」と言っていたら、どうなったのかを考える。　　　　　　　【全】  ・６年生に当たらなかった。  ・ボールを蹴らない。  ・他の遊び方を考えた。  ５　しんじ君は「そうだね」の後にどんなことを言うかを考える。  （１）しんじ君の言葉を考え、交流する。　　　　　【個→ペア→全体】  ・そうだね。休み時間は、ボールを蹴って遊んだら、誰かに当たるかもしれないから危ないね。  ・そうだね。みんなが、楽しく遊べなくなるから、今はやめとくよ。  ・きまりがあるのは、わけがあるね。  （２）タブレットを使って、しんじ君の心情  マークをクラスルームに送る。  【個→全】 | ○　登場人物について簡単に紹介し、教材を範読する。  ○　心情マークを使って、しんじ君の心情を視覚的に分かるようにする。  ○　「遊びたい」を赤、「きまりを守る」を青で表すように伝える。  ○　電子黒板で、全員の心情マークを共有し、遊びたい気持ちに共感できるようにする。  （ハートの中の数字は、赤の割合を表す）  ○　きまりを守っていたらどうなっていたかを想像することで、きまりを守ることの意味に着目できるようにする。    ○　ワークシートに自分の考えを書くように指示する。  ○　ペアになり「そうだね」に続く言葉を、役割演技を通して交流し、約束やきまりを守る意味について、考えを深めることができるようにする。  ○　心情マークを使って、しんじ君の心情を視覚的に分かるようにする。  ○　きまりを守ることの大切さを押さえる。  （「遊びたい」は赤、「きまりを守る」は青）  ◎　きまりは、みんなが安全に楽しく過ごすために大切であることを意識できたか。  　　　　　　　　　　（発言・ワークシート） |
| ま  と  め  る  １０  分 | ６　みんなが使う場所では、どんなことに気を付けるといいのか、今日の学習で考えたことをワークシートに書く。  　　 　　【個→全】  　・きまりを守って使うと、みんなが安心し  て使える。  　・みんなが、楽しく過ごせるように考える。  　・危ないことをしない。けがをするとみん  なも困る。 | * めあてに立ち戻り、学びを自分の生活につ   なげて考えるようにする。   * 学校に限らず、公園や通学路などの写真を   用意し、児童の生活の中の場面を思い起こすことができるようにする。   * 自分の生活とつなげて、きまりを守る意味   について捉えることができたか。  （発言・ワークシート） |

（４）評　　価

　　　きまりを守ることは、みんなが気持ちよく安全に過ごすために大切であることに気付き、自分の

生活とつなげて、きまりを守ろうとする気持ちを高めることができたか。

（５）板書計画

やくそく　きまり

みんなが　つかう　ばしょだから

めあて みんながつかうばしょで　きをつけなければ　いけないことについて　かんがえよう

　　　　　　・ボールあそびが大すき。

　　　　　　・ボールけりがたのしい。

　　　　　　・ちょっとぐらいならいい。

○しんじくんが「そうだね」と言っていたら、どうなったのかを考える。

・けらなかった。

・六ねんせいにあたらなかった。

・ほかの人のめいわくにならなかった。

○しんじくんは、このあとなんというかな。

・そうだね。やすみじかんは、たくさんの子があそんでいるから、ボールをけったらあぶないね。

・そうだね。みんながたのしくあそべなくなるから、いまはやめとくよ。

・そうだね。あんぜんにあそぶために、きまりがあるんだね。

○みんながつかうばしょでは、どんなことに　きをつけるとよいでしょう。

・きまりをまもってつかうと、みんながあんしんしてつかえる。

・あぶないことをしない。

・みんながたのしくあそぶことができるようにする。

部屋 が含まれている画像

自動的に生成された説明食品 が含まれている画像

自動的に生成された説明

だめだよ。やすみじかんは、ボールをけってあそんではいけないきまりでしょう。



